

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
350024	X-21-B-2-350024	2	後期	【1年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択	1年
授業科目	担当教員			【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択	1年
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	選択	1年
現代東北アジア論	若月 章			【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択	1年
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×

授業目的

今日の東北アジア地域（北東アジア・環日本海地域）は数々の国際的な課題を抱えながらも、その社会発展の可能性と潜在性の両面で、最も国際社会において期待されている〈国際地域空間〉の一つである。そして日本海側の拠点としての新潟も東北アジアに開かれたゲートウェイとして新時代に向かって大きく開かれ、“日本海大交流時代”をリードし続けている。本講義では東北アジア地域の実情について新潟の国際的位置を確認するのみならず、東北アジア各国・地域の地誌・政治・社会等を総合的に論じながら、当該地域の基本的な視座と将来展望について理解を養う。

各回毎の授業内容

第1回 【授】【オリエンテーション】講義ガイダンス 【前・後】復習に2時間を充て、当日の説明資料と配布資料を復習してください。	第9回 【授】東北アジアの各国・各地域社会概説 ②中国・東北部地域 【前・後】予習復習に4時間を充て、特に当日の説明資料と配布資料を復習してください。
第2回 【授】国際地域学習のすすめ（〈地域理解〉から〈グローバル理解〉へ） 【前・後】予習復習に4時間を充て、特に当日の説明資料と配布資料を復習してください。	第10回 【授】東北アジアの各国・各地域社会概説 ③モンゴル国 【前・後】予習復習に4時間を充て、特に当日の説明資料と配布資料を復習してください。
第3回 【授】東アジア地域の特徴—同質性と多様性から考える— 【前・後】予習復習に4時間を充て、特に当日の説明資料と配布資料を復習してください。	第11回 【授】東北アジアの各国・各地域社会概説 ④朝鮮半島—韓国と北朝鮮— 【前・後】予習復習に4時間を充て、特に当日の説明資料と配布資料を復習してください。
第4回 【授】日本及び新潟の東北アジア交流—戦前編— 【前・後】予習復習に4時間を充て、特に当日の説明資料と配布資料を復習してください。	第12回 【授】東北アジアの各国・各地域社会概説 ⑤東北アジアのコリアン事情—中国延辺朝鮮族自治州— 【前・後】予習復習に4時間を充て、特に当日の説明資料と配布資料を復習してください。
第5回 【授】日本及び新潟の東北アジア交流—戦後編— 【前・後】予習復習に4時間を充て、特に当日の説明資料と配布資料を復習してください。	第13回 【授】東北アジアの課題 ①名称及び領土問題 【前・後】予習復習に4時間を充て、特に当日の説明資料と配布資料を復習してください。
第6回 【授】東アジアの国際関係—地域統合のゆくえ— 【前・後】予習復習に4時間を充て、特に当日の説明資料と配布資料を復習してください。	第14回 【授】東北アジアの課題 ②越境する環境問題 【前・後】予習復習に4時間を充て、特に当日の説明資料と配布資料を復習してください。
第7回 【授】東アジアと日本 【前・後】予習復習に4時間を充て、特に当日の説明資料と配布資料を復習してください。	第15回 【授】東北アジアの共生に向けて—国際協力の意義とその展望— 【前・後】予習復習に4時間を充て、特に当日の説明資料と配布資料を復習してください。
第8回 【授】東北アジアの各国・各地域社会概説 ①ロシア・シベリア極東地域 【前・後】予習復習に4時間を充て、特に当日の説明資料と配布資料を復習してください。	第16回 【授】【期末試験】 【前・後】試験準備の学習として2時間以上を充て、事前に第1回～第15回までの講義資料及び配布資料に目を通しておくこと。80分（配布資料以外は持ち込みを禁止します）

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験	40	30					70
小テスト・授業内レポート	10						10
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加			20				20
成果発表（口頭・実技）							
演習							
その他							

期末試験（70%）、授業内で行う理解度確認小レポート（10%）さらに授業態度・授業へ参加（20%）で総合的に評価します。なお、不定期に小テストや受講記録を記載してもらい、次回授業で解説等を施す。

教科書参考書

参考書：日本海学推進機構編『日本海学の世紀8総集編—日本海・過去から未来へ』角川学芸出版、1300円 権寧俊編『歴史・文化からみる東アジア共同体』創土社、2400円 環日本海学会編『北東アジア事典』国際書院、3000円 野口孝行著『図解 中国・韓国・北朝鮮・ロシアのことがよくわかる本』新人物文庫、619円 市岡政夫『自治体外交—新潟の実践・友好から協力へ』日本経済評論社、2500円 蒲生俊敬著『日本海—その深層で起こっていること—』講談社ブルーバックス、860円

受講に当たっての留意事項

授業に出席することは単位認定の必須条件です。欠席が1/3を超えた場合、単位認定評価の対象外となります。

学習到達目標

1. 地域からの国際地域学習の発想を理解する。2. 東北アジア地域社会の拠点としての新潟について考える。3. 東北アジア地域各国・地域社会の現状を東アジア社会との比較から理解する。4. 東北アジアの課題と改善に向けた方途を考える。

JABEE

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習